



駒沢学園女子高等学校

「環境探究プログラム」を実施しました！

東京都稲城市にある駒沢学園女子高等学校にて、「環境探究プログラム」を実施しました。8月～9月にかけて開催した弊社カリキュラム「ユニフォーム事業体験プログラム」(※)と同様、様々なプロジェクト型学習を通して、将来を生きていく上で必要な発信力を身につけていく『Komajo Quest』の1つとして開催しました。

このプログラムは、高等学校向け探究学習の企画・運営を専門とする株式会社BatonLinkとADSSが協働でおこなう、環境貢献意識の醸成を目的とした探究プログラムです。「ファッションの魅力と環境貢献の共存デザイン」をテーマとし、生徒たちは「アパレルブランドを立ち上げる」というミッションに挑戦しました。

まず、アパレル産業と地球環境問題との関わりについて学び、その後各クラスチームに分かれて、グループワークを進めました。ひとことでアパレルと言っても様々なジャンルがあるため、今回は①制服 ②体操服 ③企業ユニフォーム ④フォーマルウェア ⑤カジュアルウェア ⑥子ども服 の計6ジャンルから選び、チームで協力しながら市場調査などをおこないました。

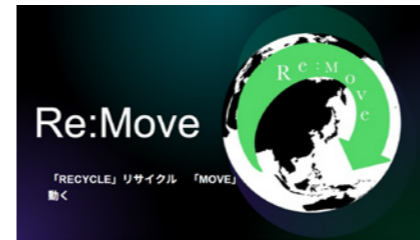
最終日には、各クラス内でプレゼンテーションを実施し、立ち上げたアパレルブランドに込めた想いやポイントなどを発表していただき、大変盛り上がりました。生徒たちには「衣服」という身近な存在を通して、少しでも社会に出た時に役立つ力や学びを得ていただけたら嬉しいです。



ミッション「アパレルブランドを立ち上げよう」に挑戦

各クラスの優勝チームの発表内容を一部ご紹介します。

アパレルジャンル | 体操服



アパレルジャンル | フォーマルウェア



アパレルジャンル | 制服



「生徒の関心が強い “アパレル” のプログラムが魅力」

本プログラムをご担当いただいた菱山先生よりコメントをいただきました。「チームで役割分担をし、アイデアを出し合って1つのアパレルブランドを立ち上げるという構図で、全員が一丸となり自分の役割をこなしていました。本校ではこの時期、会社を立ち上げようプロジェクトを行っていますが、教員側に知識がないことなどが理由で生徒のモチベーションが上がりませんでした。このプログラムは、生徒の関心が強いアパレルブランドの立ち上げということもあり、意欲的に取り組んでいると感じました。プレゼン発表当日は、各教場に1人のファシリテーターが配属され、全てのチームに講評いただけたので、生徒にとっても良い刺激になったのではないかと思います。これは余談ですがファシリテーターが関西の方で、関西の独特なノリで講義されているのも新鮮味が強かったですね。」



カリキュラム実施概要

開催日 | 2025年10・11月の土曜日

合計 4日間 7コマ

対象者 | 3年生 5クラス 160名



(※) 8月～9月に開催したカリキュラム「ユニフォーム事業体験プログラム」のREPORTは、上記QRコードよりご覧ください。

